

そこが聞きたい!



寒河江宏一議員

寒河江宏一議員 町長はマニフェストで、「グリーンバレー神室」活性化を具体的な事業としてあげている。神室スキー場に指定管理者制度を導入して民間経営の発想と活力で、町行政のスリム化と利用者へのサービスの向上すれば、スキー場の活性化につながるのではないかと。

町長 スキー場の運営をホテルと一体的にできないかJR東日本と協議してきましたが、採算面から厳しいというものであります。経営を考えれば一元的な管理が望ましいので再度協議をしてみたいです。

寒河江議員 町内にも管理受託できる優秀な企業や団体があるので、視野にいれ

質問 指定管理者制度でスキー場の活性化を

回答 管理運営について協議を進める

て検討していただきたい。
町長 ㈱グリーンバレー神室振興公社に限らず、当然に町内企業団体も対象になります。

第三セクターの成果は

寒河江議員 町とJR東日本が第三セクター方式で運営している「ホテルシェーナスハイム金山」が、お客



賑わう神室雪まつり

様に喜ばれる従業員の配置になっていくか、
また、営業の拡大は。
町長 お客様に迷惑をおかけしないように柔軟な対応をお願いしている。

営業については、新聞や町広報でのPRだけでなく、社員の会社訪問など取締役会の中で検討し、第三セクターで良かったと言われるようにサービスの充実に努めていきます。



夏のスキー合宿

温泉の運営状況は

温泉の運営状況は

寒河江議員 「ホットハウスカムロ」は、現在、指定管理者制度により「㈱グリーンバレー神室振興公社」が年1,475万円で管理をしている。町民へのサービ

スや町にとって、指定管理者制度を活用した成果をどのように捉えているか。

町長 限られた管理料での運営になりますので、収益の増加対策や経費の節減などに努めています。

今後も「町民優待ホットハウス日帰りプラン」や「温泉友の会」など積極的に企画PRを行い利用者の拡大を図ってまいります。



早坂憲明議員

早坂憲明議員 今年10月17日に繁殖豚100頭が入荷され、いよいよ開業となった金山最上牧場である。

金山産ブランドをつくる上からも、また養豚場の経営が長く持続でき、町の発展に結びつけるという観点からも、何よりもわが町の農業基盤の確立・発展のために、養豚場で必要なだけの飼料米を提供できるように、行政・農家が一体となり努力すべきと考えるが、飼料米確立への対応をどう考えるか。

正野産業課長 養豚場で年間使用する配合飼料の10%にあたる300トンの飼料米の供給を要請されている。21年度には50haの栽培を目指したい。

質問 飼料米確立への今後の対応は

回答 最も有効な配分方法を検討していく

飼料米の取り組みにあたって何点かの課題がある。

一つ目は専用種子の確保であります。自家採取した種子を農家がまた使うのは認められているが、人に売り渡すことは認められていない。しかし、種子の育成者権を持つ法人と国が協議したところ、金山町で試験栽培をした飼料米につき、3,000kg(約60ha分)を来年度の種子用に変換が認められました。

二つ目の価格支援については、国では産地づくり交付金とは別枠で、10a当たり5万5,000円を飼料米生産の交付を検討しており、国や県の動向なども見極めながら、価格の支援を農家の方へ示していきたい。

もう一つの大きな課題が、50haの飼料米を、誰にどの水田で作ってもらうか、その選択が非常に難しい課題である。

一つ目は耕作放棄地の解消を目指すべきという意見、二つ目は生産調整に協力しない農家へ、三つ目は逆に生産調整に協力した農家へ、四つ目は全農家への希望をとり、希望農家に平等の配分をとるという意見もあるが、最も有効な配分方法を検討していきたい。

生産調整非参画者の対応は

早坂議員 生産調整は農家にとっては苦しいものではありますが、非参画者を多くすることはマイナスでもあります。町の今後の対応は。

産業課長 国では平成21年度以降、未達成の市町村地域に対して、水田経営にかかわる補助事業の不採択、採択順位の引き下げなど、ペナルティ措置を表明している。

金山町でもかなりの影響を受けるものと心配され、未達成者には説得の必要があり、毅然とした対応をすべきと考えている。



開業した新金山最上牧場